

第2章 健康づくりをめぐる現状と課題

1. 統計からみた概況

(1) 人口動向

根室市の人口は減少傾向で、年少人口（0～14歳）生産年齢人口（15～64歳）が減り、老年人口（65歳以上）が増えているため、少子高齢化が進んでいます。死亡数が出生数を上回っているため、人口の自然減が続いています。

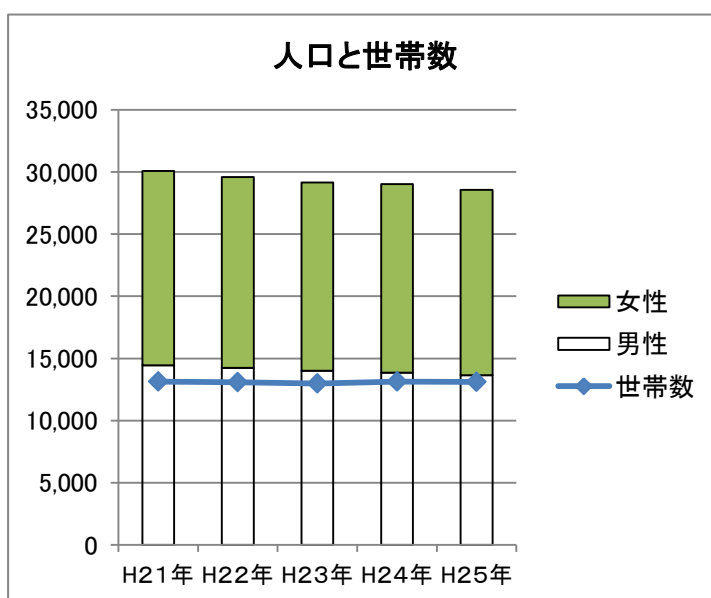
出生率は全道平均並みで、全国より低くなっています。一人の女性が一生の間に産む子どもの平均数は、全国平均並みで、全道より高くなっています。

人口と世帯数の推移（件・人）

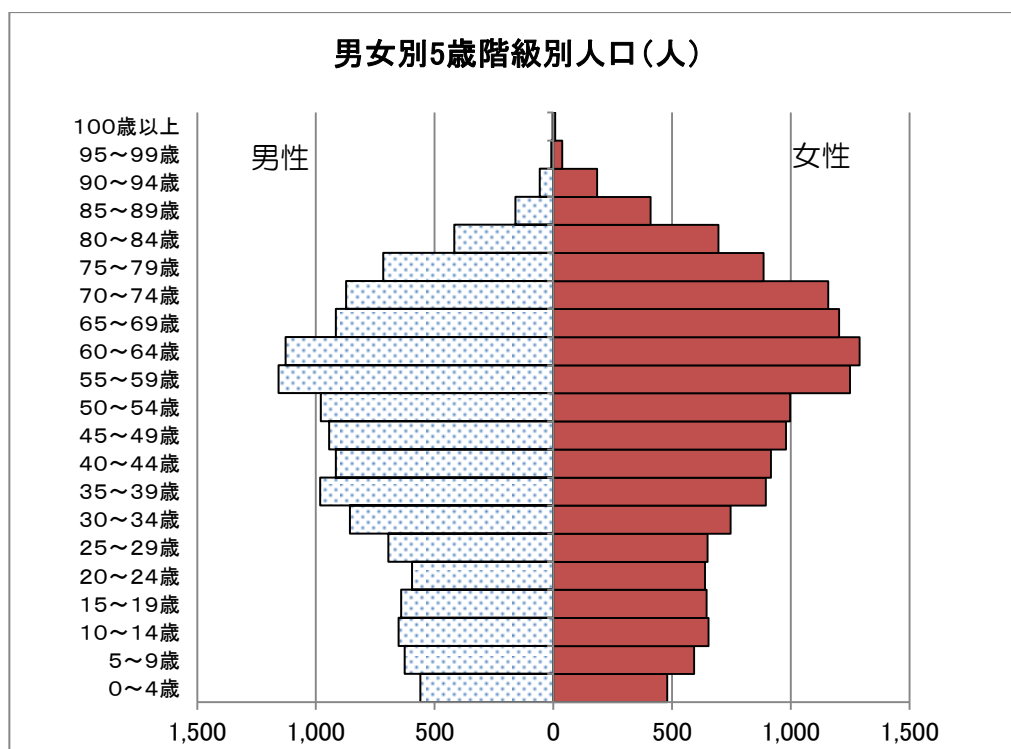
	根室市			
	世帯数	人口	男性	女性
H21年	13,075	29,868	14,339	15,529
H22年	12,974	29,330	14,085	15,245
H23年	12,913	28,923	13,898	15,025
H24年	13,131	29,015	13,848	15,167
H25年	13,103	28,549	13,639	14,910

※ 根室市 各12月末人口

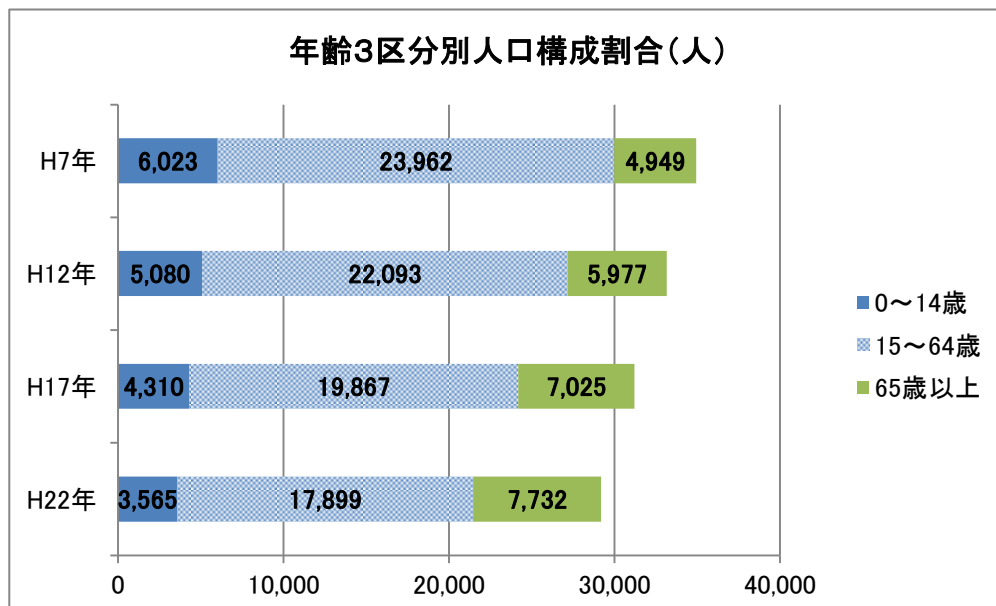
人口と世帯数



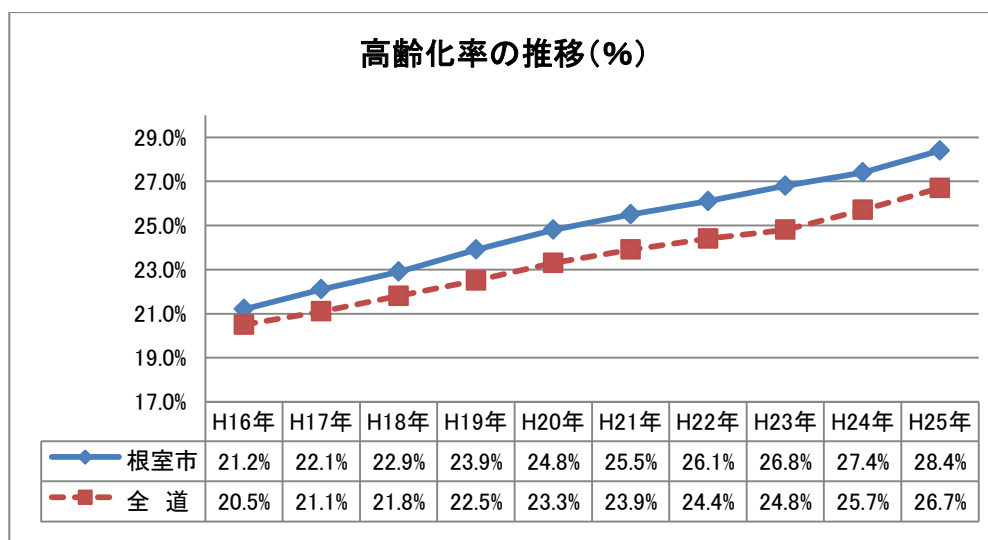
男女別5歳階級別人口（人）



※ H22年国勢調査

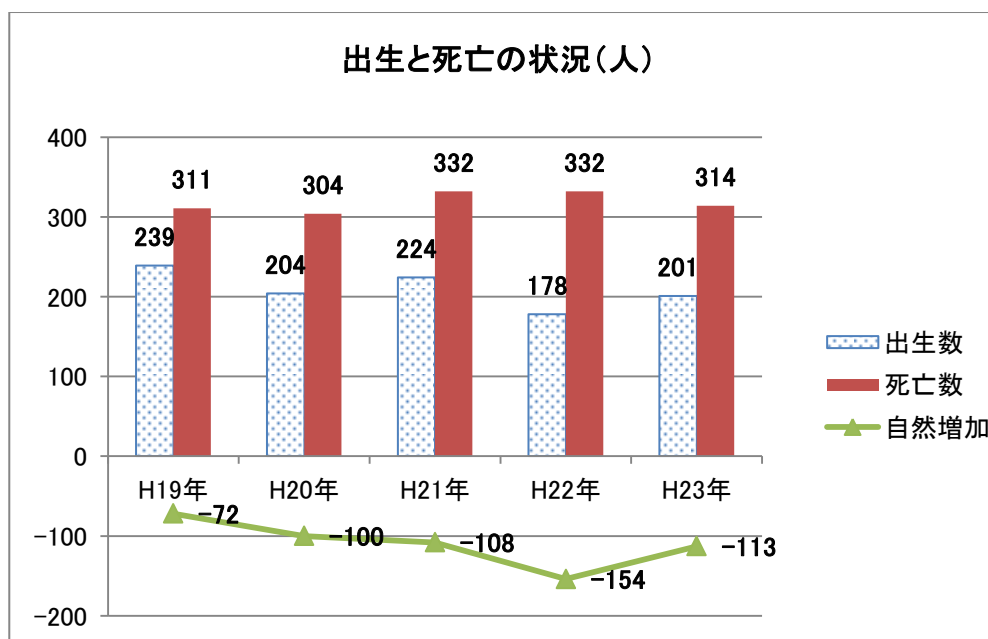


※ 国勢調査



※ 根室市介護福祉課資料

※ 北海道保健福祉部福祉局高齢者保健福祉課資料



※ 釧路根室地域年報

出生数（率/人口千対）

	根室市		全 道	全 国
	出生数	出生率	出生率	出生率
H19 年	239	7.9	7.5	8.6
H20 年	204	6.9	7.4	8.7
H21 年	224	7.7	7.3	8.5
H22 年	178	6.2	7.3	8.5
H23 年	201	7.1	7.2	8.3

※ 釧路根室地域年報

合計特殊出生率

（一人の女性が一生の間に産む子どもの平均数）

	根室市	全 道	全 国
H19 年	1.61	1.19	1.34
H20 年	1.61	1.2	1.37
H21 年	1.61	1.19	1.37
H22 年	1.37	1.26	1.39
H23 年	1.37	1.25	1.39

※ 釧路根室地域年報

死亡数（率/人口千対）

	根室市		全 道	全 国
	死亡数	死亡率	死亡率	死亡率
H19 年	311	10.3	9.3	8.8
H20 年	304	10.3	9.6	9.1
H21 年	332	11.4	9.7	9.1
H22 年	332	11.5	10.1	9.5
H23 年	314	11.0	10.4	9.9

※ 釧路根室地域年報

（２）寿命と死亡状況

平均寿命は全道・全国より低く、特に男性の平均寿命は1歳以上の開きがあります。

早世死亡割合（64歳以下の死亡割合）はH19～21年までは全道・全国より高い状況でしたがH22～23年で減少し、ほぼ全道・全国と同程度となり、女性では全道・全国より低くなっています。

死因別では、悪性新生物で亡くなる方が最も多く、心疾患、肺炎と続いています。

標準化死亡比（年齢構成が異なる集団間の死亡傾向を比較）では、悪性新生物の死亡率が有意に高く特に肺がん、胆のうがん、膵がん（男性）が高い状況です。また、心疾患、脳血管疾患も有意に高くなっています。人口10万人当たりの自殺者の数は、全道・全国よりやや低い状態ですが年度によってばらつきがあり、H15～24年の標準化死亡比（SMR）では、全道・全国より高くなっています。

平均寿命（才）

	根室市		全 道		全 国	
	男 性	女 性	男 性	女 性	男 性	女 性
H 7 年	76.0	85.4	78.3	85.8	78.8	85.8
H12 年	76.3	83.4	77.6	84.8	77.7	84.6
H17 年	76.0	85.4	78.3	85.8	78.8	85.8
H22 年	78.1	86.1	79.2	86.3	79.6	86.4

※ H7～22年市町村別生命表の概況

早世死亡状況（64歳以下の死亡の割合）％

	総 数			男 性			女 性		
	根室市	全 道	全 国	根室市	全 道	全 国	根室市	全 道	全 国
H19 年	19.6	17.6	16.6	25.6	21.4	21.1	11.9	12.9	11.4
H20 年	16.8	16.7	15.8	20.4	20.2	20.2	13.4	12.7	10.9
H21 年	20.8	16.1	15.4	23.4	19.6	19.8	17.1	12.1	10.5
H22 年	15.7	15.7	14.7	20.7	19.1	18.9	9.0	11.7	10.0
H23 年	13.7	14.8	14.7	18.0	18.0	18.7	8.8	11.3	10.4

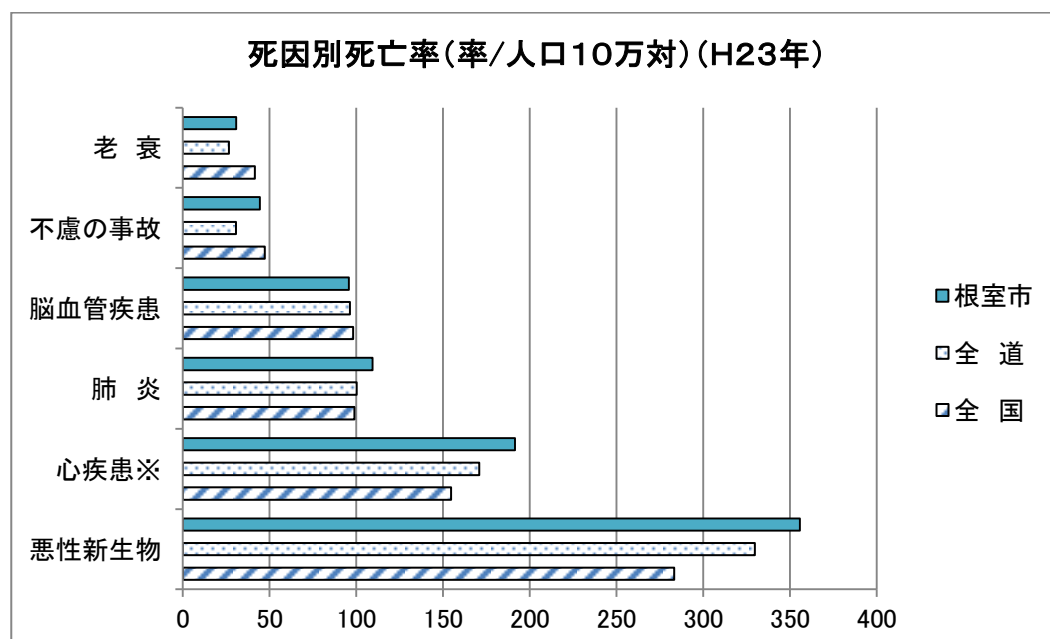
※ 釧路根室地域年報から算出

死因別死亡率（率/人口10万対）（H23年）

		1 位	2 位	3 位	4 位	5 位	6 位
		率	率	率	率	率	率
死 因		悪性新生物	心疾患＊	肺 炎	脳血管疾患	不慮の事故	老 衰
根室市	総数	355.7	191.5	109.4	95.8	44.5	30.8
	男性	455.8	185.2	92.6	92.6	57	49.9
	女性	263.1	197.4	125	98.7	32.9	13.2
死 因		悪性新生物	心疾患＊	肺 炎	脳血管疾患	不慮の事故	老 衰
全 道	総数	329.7	170.8	100.2	96.2	30.6	26.5
	男性	406	170.8	116.2	101	39.1	13.9
	女性	260.9	170.8	85.7	91.8	22.9	37.8
死 因		悪性新生物	心疾患＊	肺 炎	脳血管疾患	腎 不 全	不慮の事故
全 国	総数	283.2	154.5	98.9	98.2	47.1	41.4
	男性	346.9	148.6	108.4	97	52.9	20.4
	女性	222.7	160.1	89.8	99.3	41.6	61.4

※ 釧路根室地域年報

＊ 高血圧性を除く



※ 高血圧性を除く

標準化死亡比（SMR）

年齢構成の異なる集団間で死亡状況の比較ができるように、年齢構成を調整した死亡率が標準化死亡比（SMR）です。このSMRを用いることによって、年齢構成の異なる集団について、年齢構成の相違を気にすることなく、より正しく比較を行うことができます。

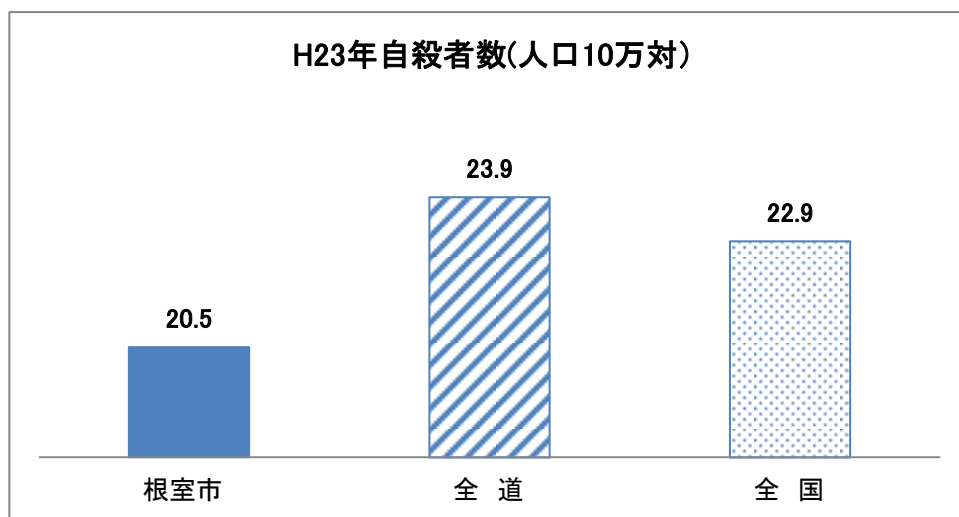
全国の平均を 100 としており、標準化死亡比が 100 以上の場合は全国平均より死亡率が高いと判断され、100 以下の場合は死亡率が低いと判断されます。

SMR H15～24 年

病類	北海道		根室市					
	SMR	有意差	SMR	有意差	男 性		女 性	
悪性新生物	106.3	**	116.6	**	114.8	**	111.6	*
胃がん	94	—**	107.8		92.0		117.7	
肺がん	115.6	**	151.1	**	142.9	**	139.7	**
大腸がん	108.4	**	118.1		123.8		92.1	
食道がん	112.0	**	111.4		134.9		132.1	
胆のうがん	112.7	**	177.4	**	157.9	*	186.1	**
肝がん	86.5	—**	73.2	—*	68.5	—*	71.4	
膵がん	126.4	**	123.6		164.3	**	110.7	
乳がん	105.4	**	94.6				67.8	
子宮がん	99.5		73.8				74.4	
心疾患	102.3	**	141.0	**	147.8	**	145.3	**
虚血性心疾患	87.6	—**	110.1		116.4		109.3	
脳血管疾患	93.4	—**	114.0	*	129.9	**	104.2	
肺 炎	94.5	—**	101.4		95.5		92.7	
腎不全	129.4	**	113.7		111.7		84.5	
自 殺	109.7	**	118.3		113.8		93.5	

※ 財団法人北海道健康づくり財団HP

☆ 有意差について… *は有意水準5%、**は1%で、SMRが有意に高い（全国より死亡が有意に多い）ことを示す。
—*は5%、—**は1%でSMRが有意に低い（全国より死亡が有意に少ない）ことを示す。



※ H24 年版 釧路・根室地域保健情報年報(H23 年度実績)

(3) 国民健康保険レセプトからみる疾病状況

疾病分類で受診件数の割合が最も高い疾患は、高血圧性疾患です。次に歯肉炎・歯周疾患が続く歯と口腔関連の疾患が上位に入っています。また糖尿病が4位に入っています。

年齢別では、40～54歳までは、消化器系疾患（特に歯肉炎・歯周病）が最も多く、55歳からは、循環器系疾患（特に高血圧症）が最も多くなっています。

根室市疾病分類別多発疾患（全年齢） 根室市国民健康保険被保険者（H25年5月診療分）

	1位	2位	3位	4位	5位
H23年	高血圧性疾患 (7.57%)	歯肉炎・歯周疾患 (3.65%)	その他歯の障害 (2.89%)	糖尿病 (2.15%)	う蝕 (2.06%)
H24年	高血圧性疾患 (10.56%)	歯肉炎・歯周疾患 (5.28%)	その他歯の障害 (3.00%)	糖尿病 (2.48%)	その他内分泌系疾患 (2.44%)
H25年	高血圧性疾患 (11.33%)	歯肉炎・歯周疾患 (6.00%)	その他内分泌系疾患 (2.63%)	糖尿病 (2.56%)	その他歯の障害 (2.38%)

疾病大分類別の受診件数（H25年5月診療分） ※下段は大分類の中での最多疾患

	1位	2位	3位	4位	5位
40～44歳	消化器系 65 歯肉炎・歯周病 38	精神系 37 統合失調症 18	筋骨格系 20 椎間板 7	循環器系 18 高血圧症 10	呼吸器系 18 喘息 10
45～49歳	消化器系 69 歯肉炎・歯周病 33	呼吸器系 36 喘息 11	循環器系 25 高血圧症 18	筋骨格系 24 関節症 6	内分泌系 23 糖尿病 10
50～54歳	消化器系 90 歯肉炎・歯周病 43	循環器系 57 高血圧症 49	筋骨格系 40 炎症性 10	内分泌系 37 糖尿病 23	精神系 27 統合失調症 13
55～59歳	循環器系 126 高血圧症 98	消化器系 106 歯肉炎・歯周病 52	内分泌系 58 糖尿病 29	筋骨格系 47 関節症 17	新生物 25 良性・その他 11
60～64歳	循環器系 277 高血圧症 213	消化器系 189 歯肉炎・歯周病 90	内分泌系 97 糖尿病 45	筋骨格系 91 関節症 26	精神系 52 気分障害 24
65～69歳	循環器系 386 高血圧症 304	消化器系 215 歯肉炎・歯周病 83	内分泌系 138 その他 65	筋骨格系 103 関節症 28	精神系 58 気分障害 31
70～74歳	循環器系 557 高血圧症 401	消化器系 309 歯肉炎・歯周病 114	筋骨格系 183 関節症 60	内分泌系 162 その他 82	眼系 92 その他 34

(4) 介護保険の状況

第2号被保険者(40～64歳)で要介護認定となった原因疾患は、脳出血と脳梗塞で7割を占めています。

根室市の高齢化率は増加傾向で、全道と比較してやや高く(2%程度)推移しています。

(P5参照)

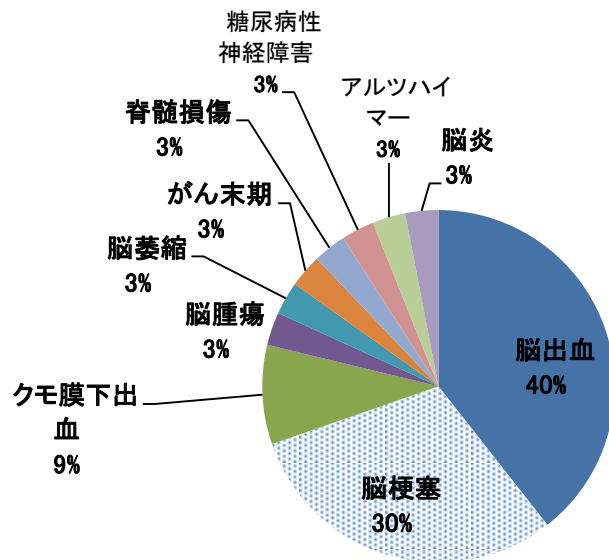
65歳以上の第1号被保険者に占める介護認定者比率は、全道より低い状況ですが、年々増加傾向にあります。

要介護度別要介護(要支援)認定者率は、要支援1～要介護2までの割合が高くなっています。

第2号被保険者要介護認定者の主な原因疾患

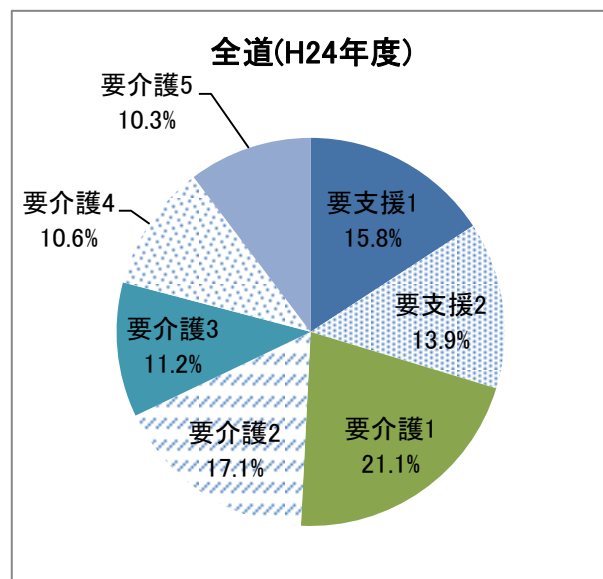
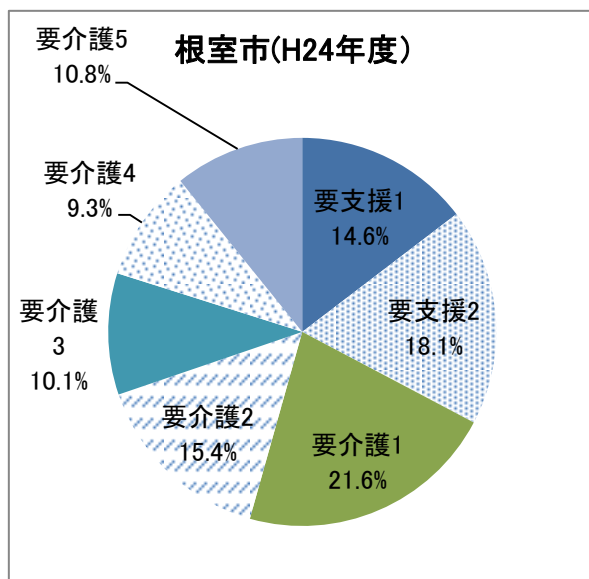
(人、%)

原因疾患	該当者数	割合(%)
脳出血	13	40%
脳梗塞	10	30%
クモ膜下出血	3	9%
脳腫瘍	1	3%
脳萎縮	1	3%
がん末期	1	3%
脊髄損傷	1	3%
糖尿病性神経障害	1	3%
アルツハイマー	1	3%
脳炎	1	3%
合計	33	100%



H26.3.4 現在

要介護度別要介護(要支援)認定率



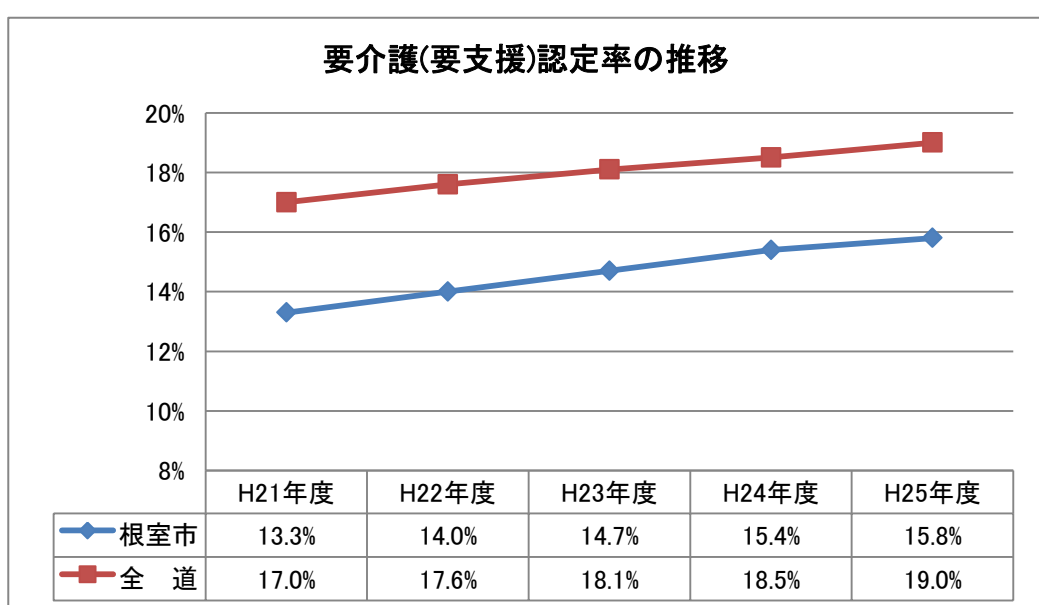
※ 厚生労働省介護保険事業状況報告年報

要介護(要支援)認定率の推移(人、%)

	根室市			全 道
	第1号 被保険者数	要介護者数 (要支援者数)	認定率	認定率
H21年度	7,676	1,019	13.3%	17.0%
H22年度	7,731	1,079	14.0%	17.6%
H23年度	7,846	1,153	14.7%	18.1%
H24年度	7,958	1,225	15.4%	18.5%
H25年度	8,040	1,270	15.8%	19.0%

※ 認定率は第1号被保険者に占める認定者比率

※ 厚生労働省介護保険事業状況報告年報



※ 厚生労働省介護保険事業状況報告年報

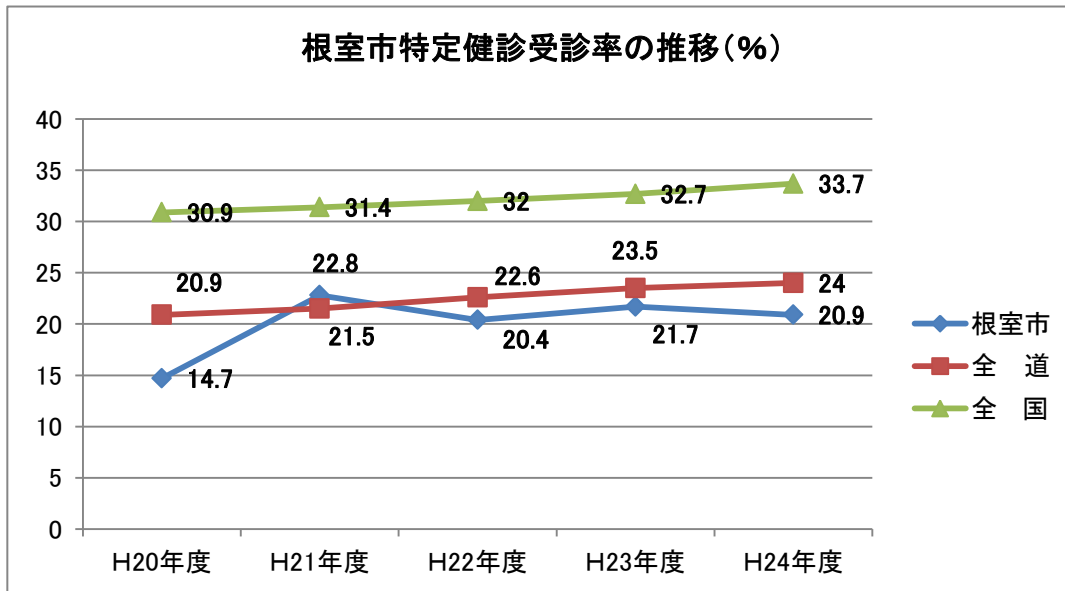
(5) 特定健康診査・がん検診の状況

① 特定健康診査

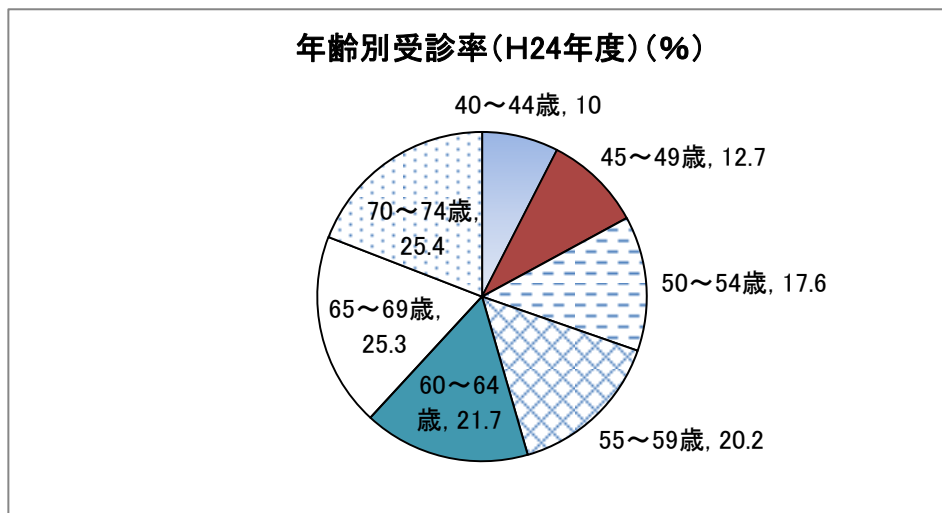
根室市特定健康診査の受診率は、全道・全国より低く推移しています。特に40代の若い世代の受診率が低い状況です。メタボリック症候群該当者の割合は、全道より10%程度高く推移しています。特に肥満、高血圧、高血糖の方の割合が高い状況です。男性の尿蛋白有所見者の割合も高くなっています。

特定健康診査から見える生活習慣では、喫煙率が男女とも全道平均より高く、特に女性の喫煙率が全道と比べ高くなっており、減少傾向はみられません。

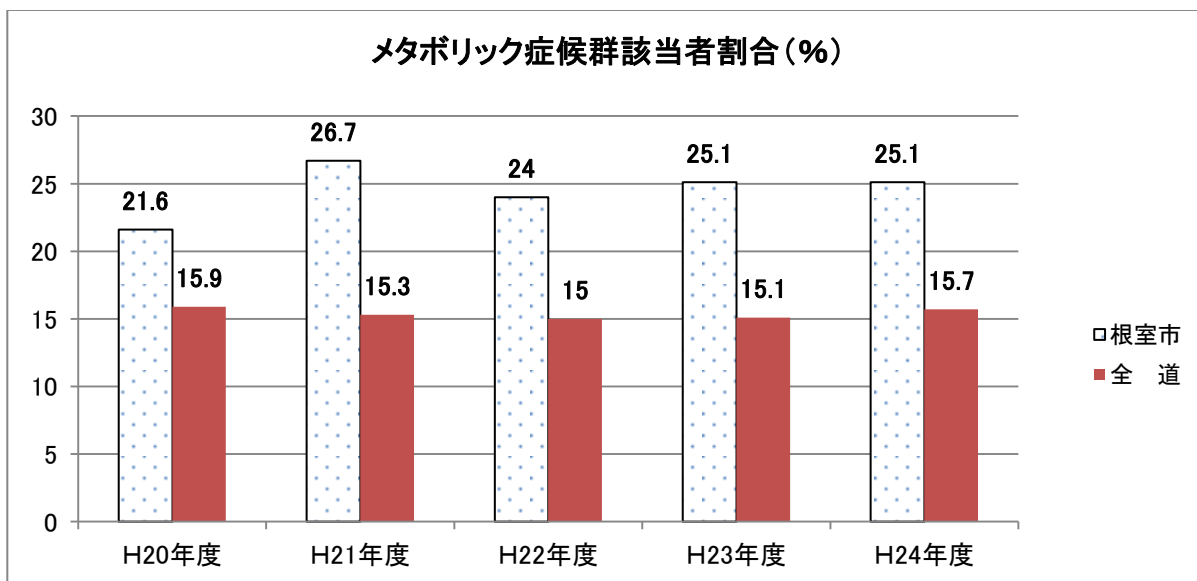
食習慣では、全道と比べ朝食の欠食や間食の割合が高く、食べる速度も速くなっています。運動習慣は、ほぼ全道並みで、わずかながら男性の運動習慣を持つ人の割合が全道より高い状況です。しかし運動習慣を持たない人が、男性60%・女性70%程度います。



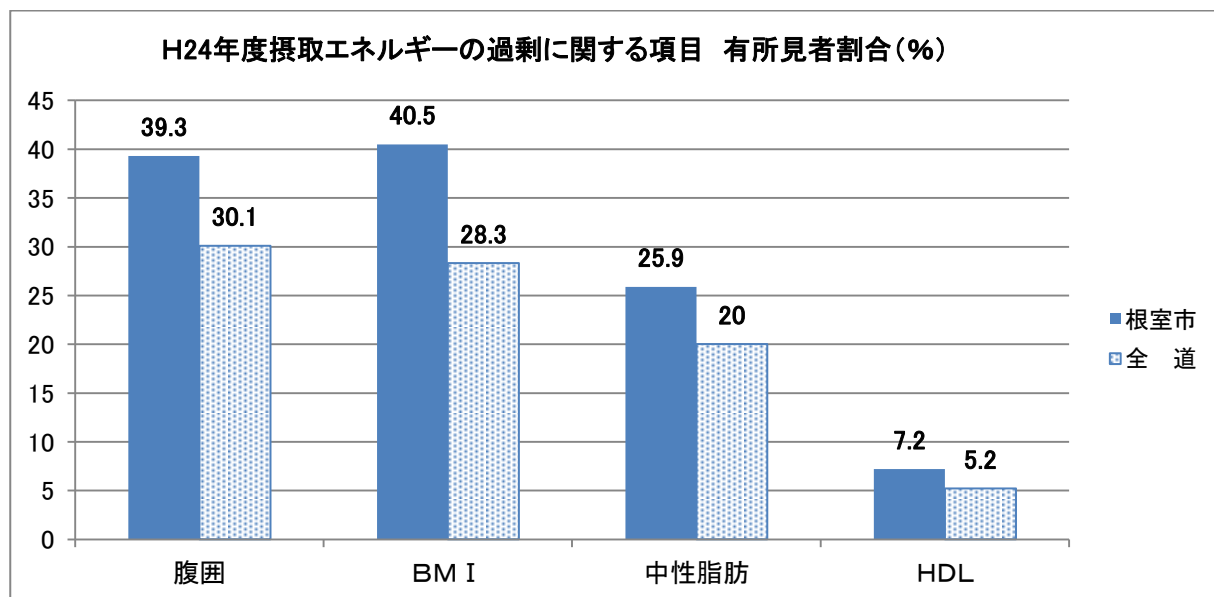
※ H20 年度は、根室市は年度途中から実施。(10 月)
 ※ 北海道国保連合会 特定健診・特定保健指導 実施結果関係帳票



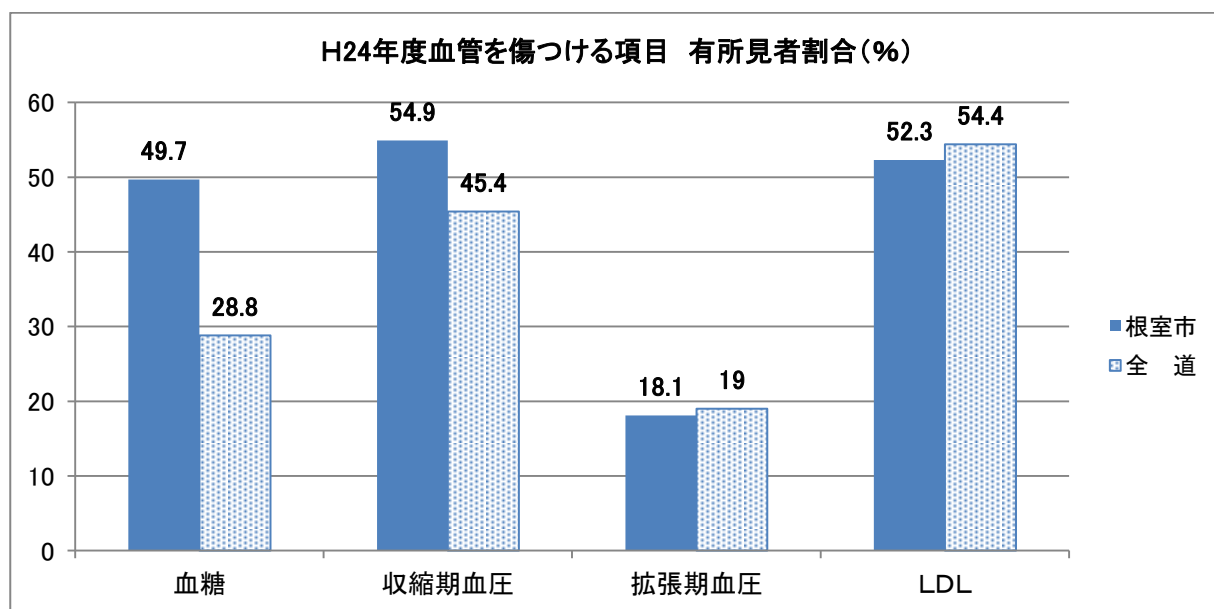
※ 北海道国保連合会 特定健診・特定保健指導 実施結果関係帳票



※ 北海道国保連合会 特定健診・特定保健指導 実施結果関係帳票

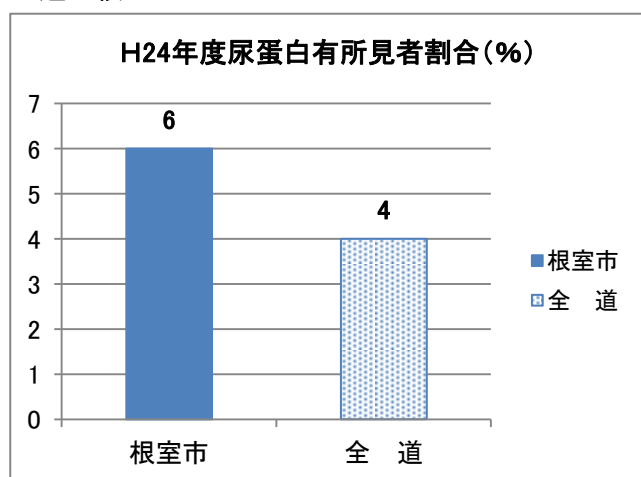


※ 市町村国保における特定健診状況報告書（H25. 12）

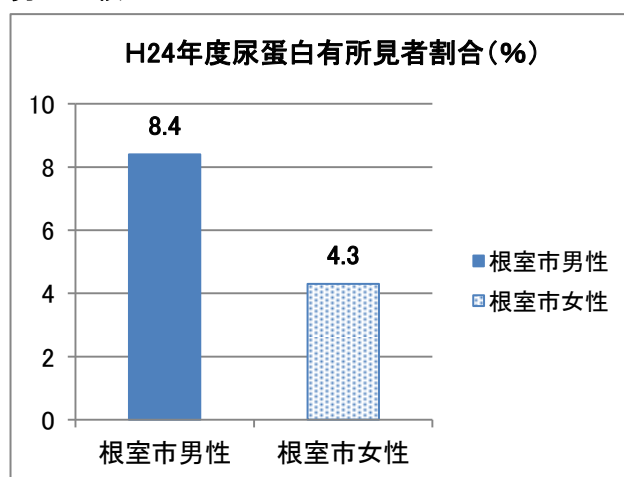


※ 市町村国保における特定健診状況報告書（H25. 12）

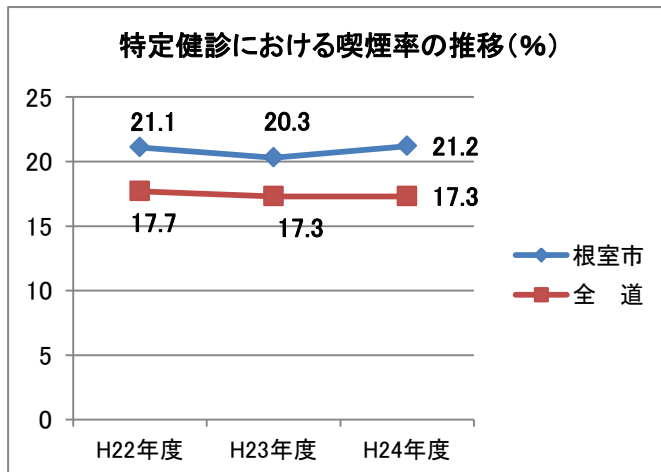
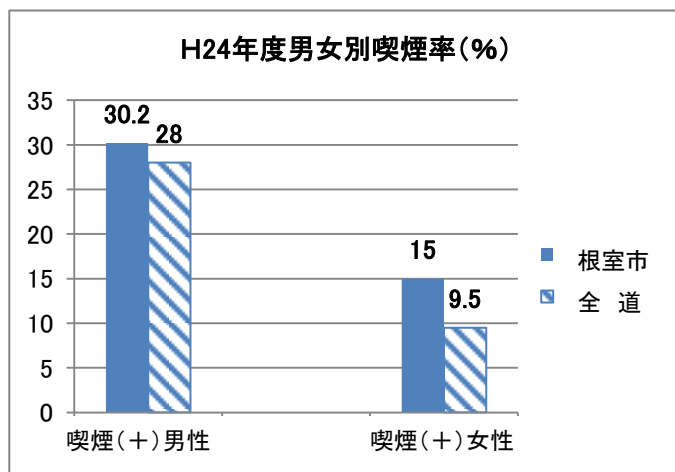
全道比較



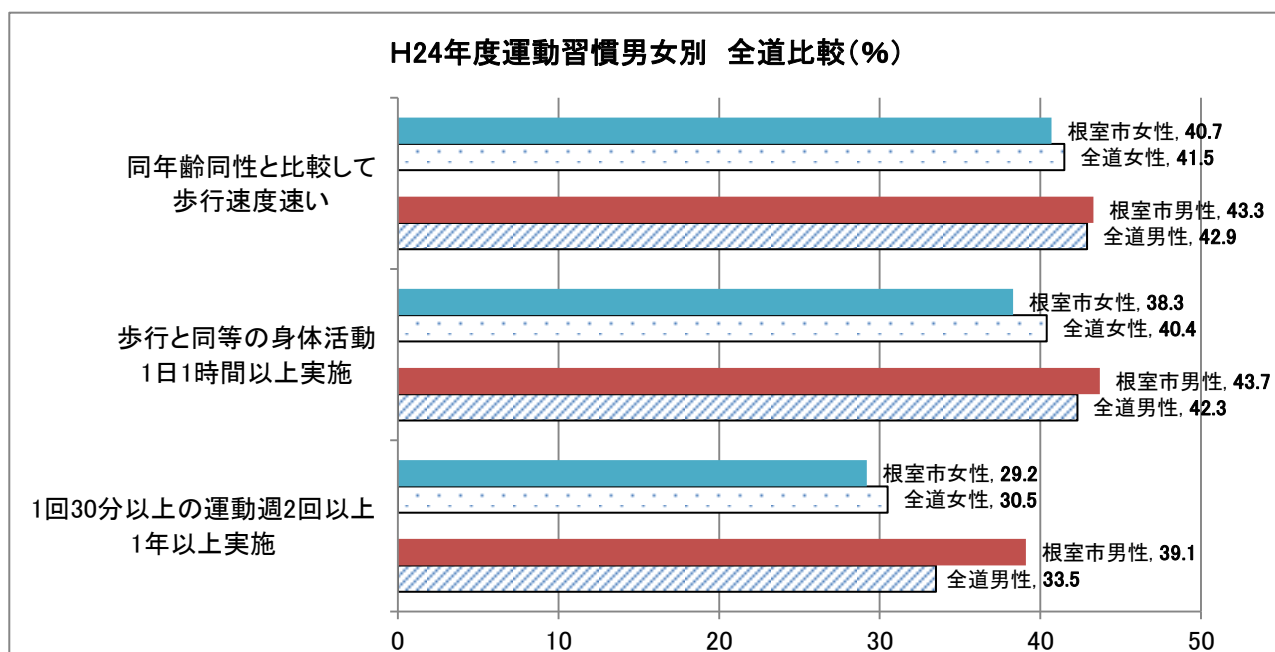
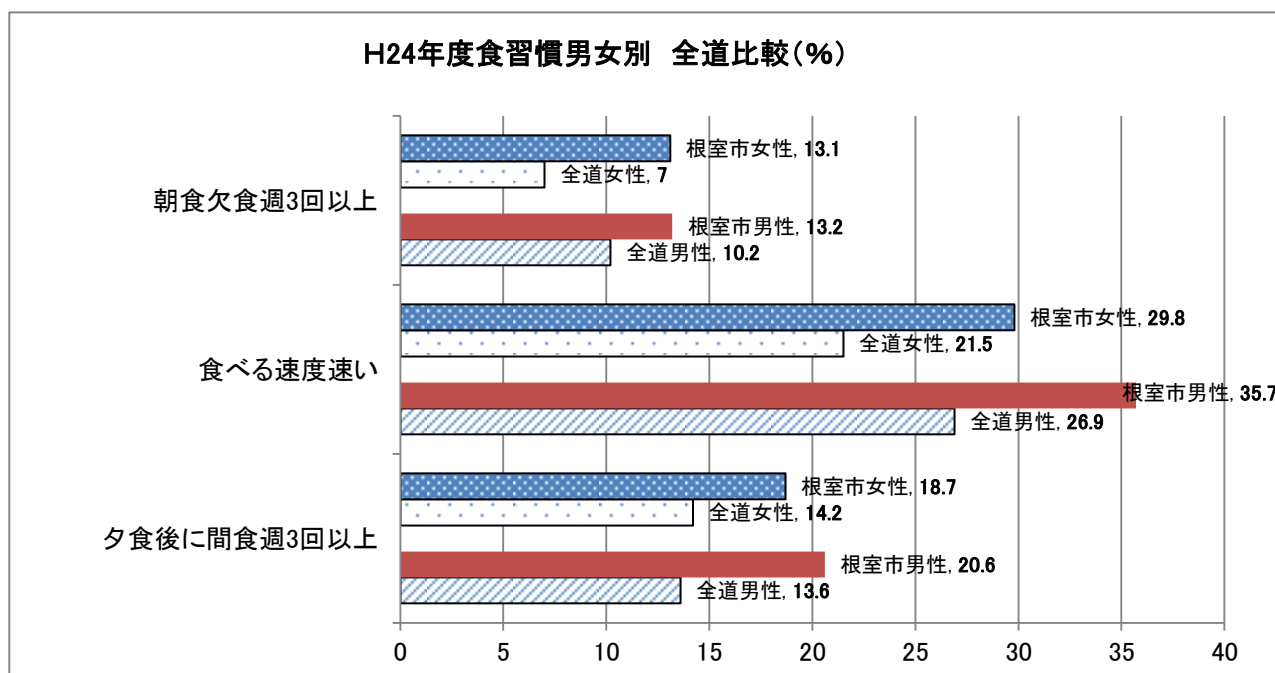
男女比較



※ 市町村国保における特定健診状況報告書（H25. 12）



※ 北海道国保連合会 特定健診・特定保健指導 実施結果関係帳票



※ 北海道国保連合会 特定健診・特定保健指導 実施結果関係帳票
市町村国保における特定健診状況報告書 (H25. 12)

② がん検診

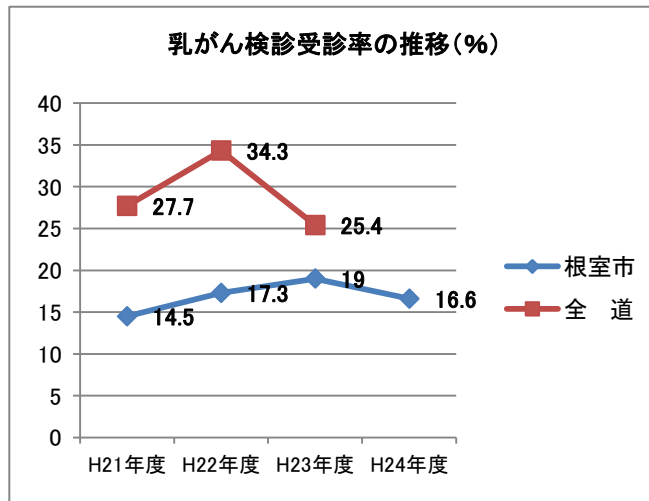
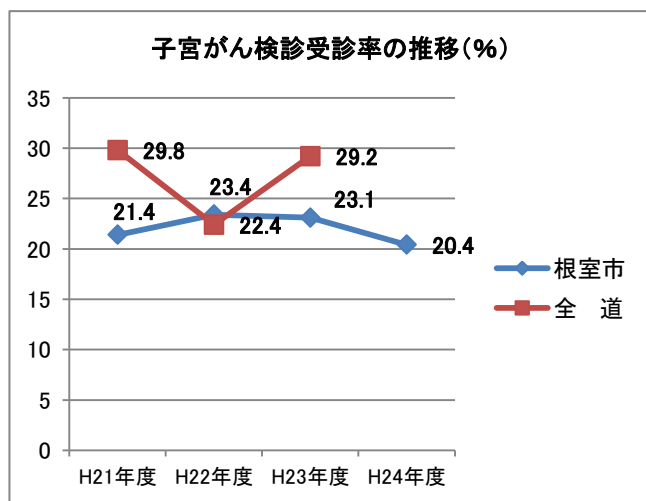
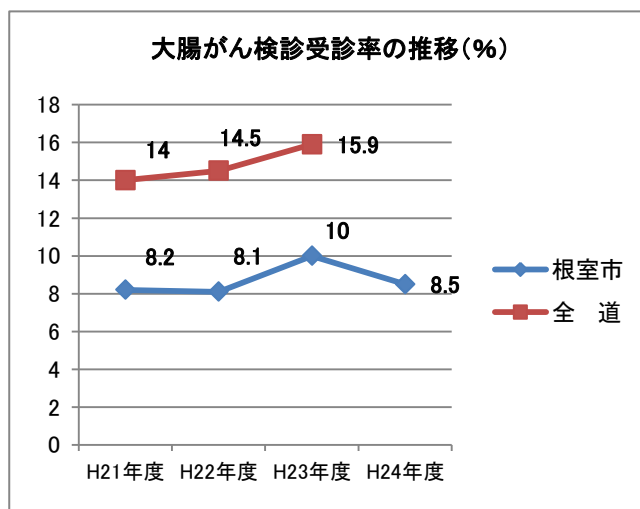
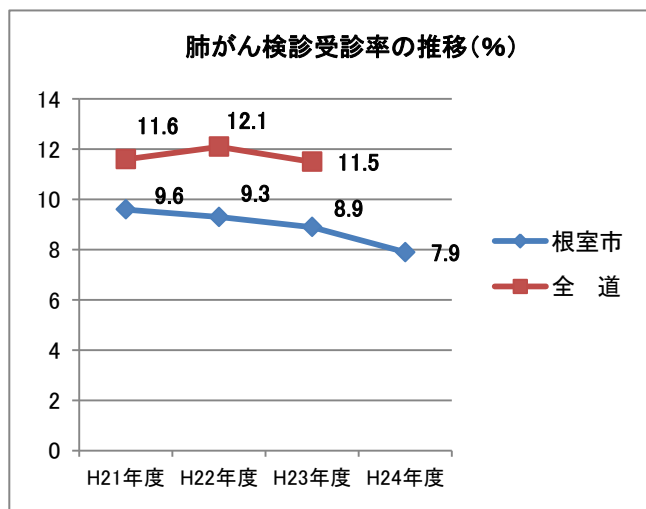
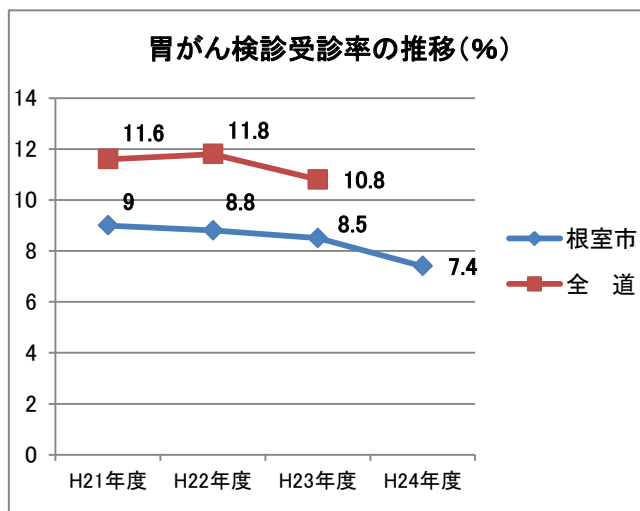
がん検診受診率は、すべてのがん検診で全道より低く推移し、胃がん・肺がん検診は低下傾向にあります。

がん検診受診率（％）

		H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度
胃がん 検診	根室市	9	8.8	8.5	7.4
	全 道	11.6	11.8	10.8	
肺がん 検診	根室市	9.6	9.3	8.9	7.9
	全 道	11.6	12.1	11.5	
大腸がん 検診	根室市	8.2	8.1	10	8.5
	全 道	14	14.5	15.9	
子宮がん 検診	根室市	21.4	23.4	23.1	20.4
	全 道	29.8	22.4	29.2	
乳がん 検診	根室市	14.5	17.3	19	16.6
	全 道	27.7	34.3	25.4	

※ 釧路根室地域年報

※ 地域保健・健康増進事業報告数

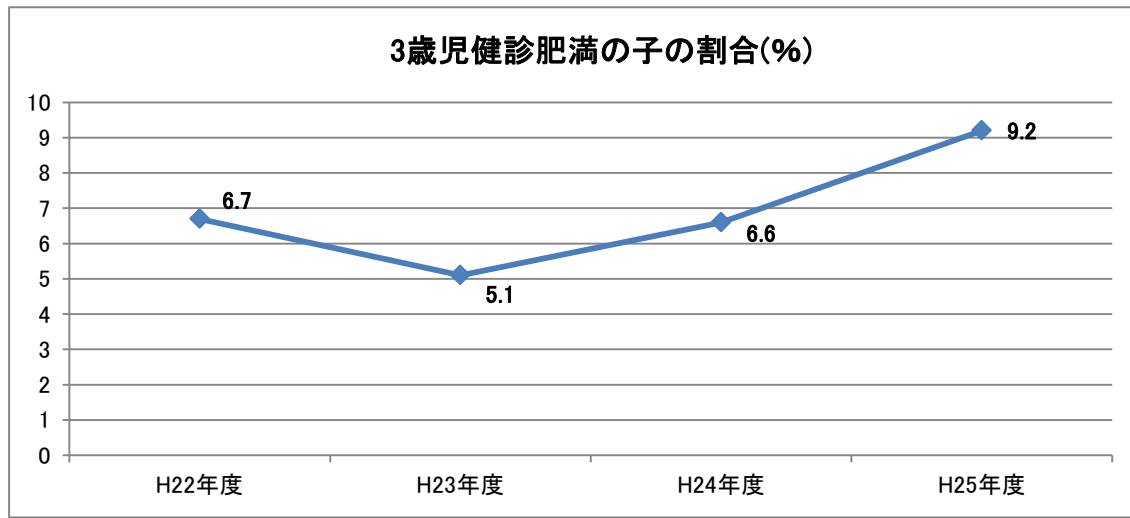


(6) 次世代の健康

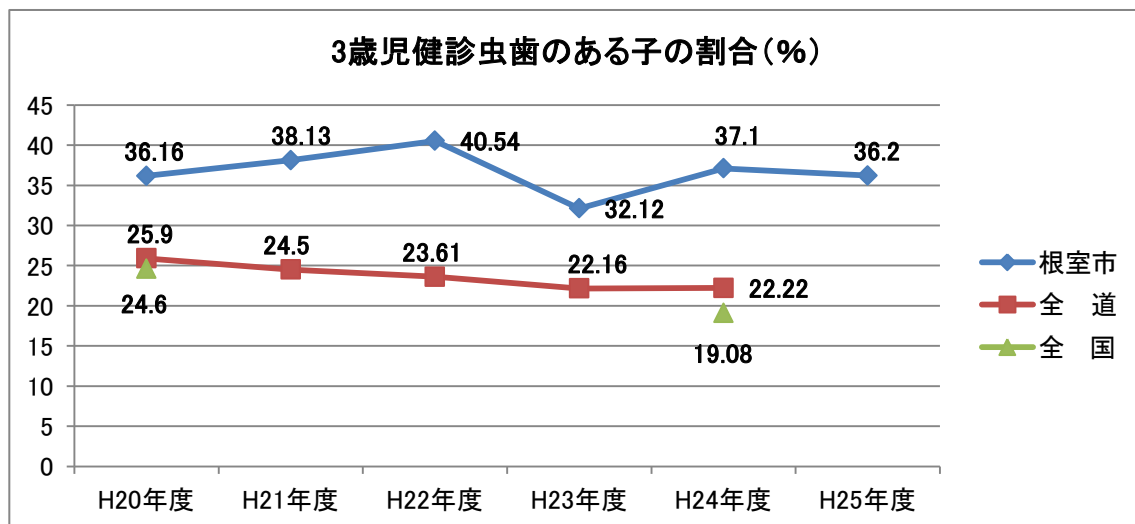
3歳児健診では、肥満の子の割合は増加傾向にあります。また、虫歯のある子の割合は全道・全国よりかなり高い状態で推移しており、減少傾向もみられていません。

幼児の食事では、朝食の欠食率は3%前後で推移しています。間食については、おやつ時間を決めていない子や、お風呂上り（夜）に甘いものを摂取している子が半数程度いる状況です。野菜については、しっかり摂取できていない状況がうかがえます。

妊婦の喫煙率は、全道・全国に比べ高い傾向にあります。妊産婦とも1割程度が喫煙している状況です。



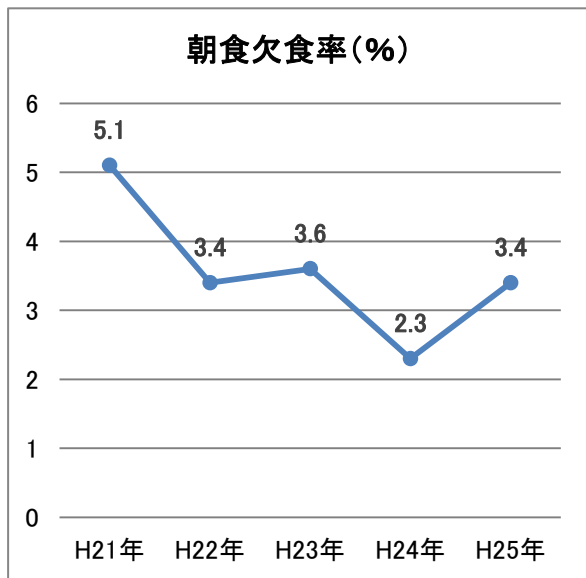
※ 根室市3歳児健診統計



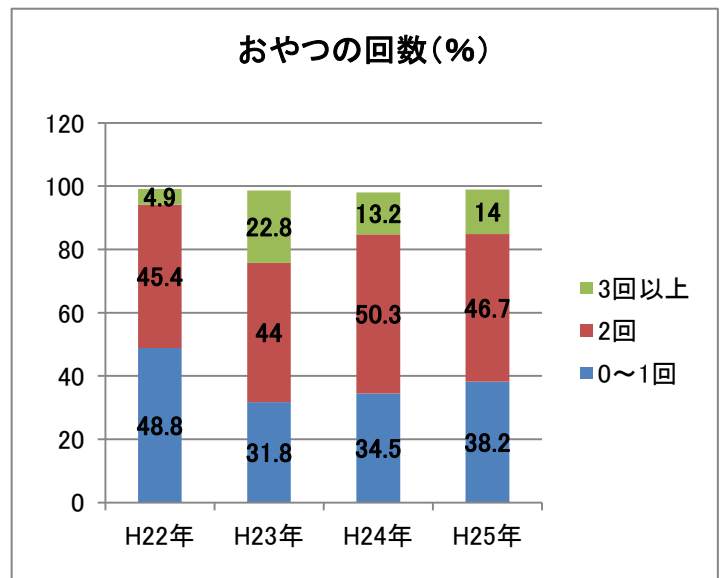
※ 釧路根室地域年報

※ 根室市3歳児健診統計

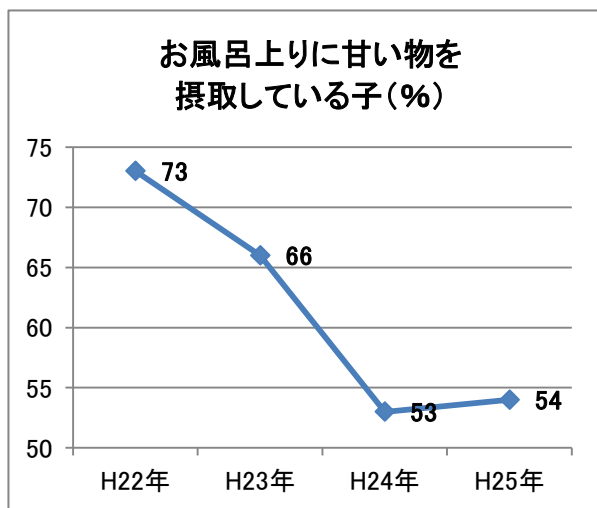
※ H24年度の北海道・全国の値は3歳児歯科健康診査実施状況（都道府県）厚生労働省



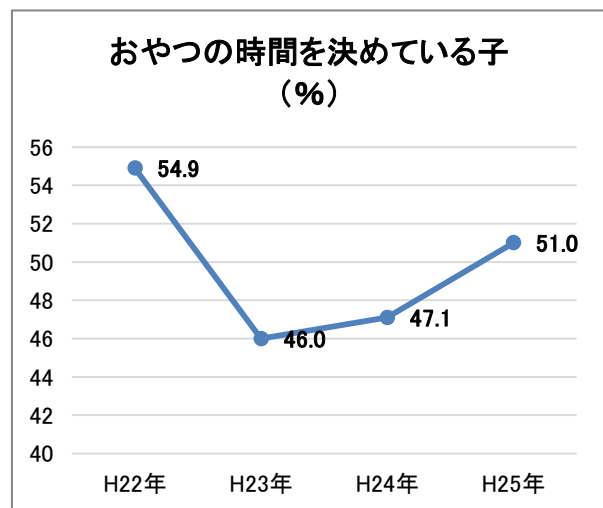
※ 根室市食育健康教育（保育所・幼稚園）アンケート



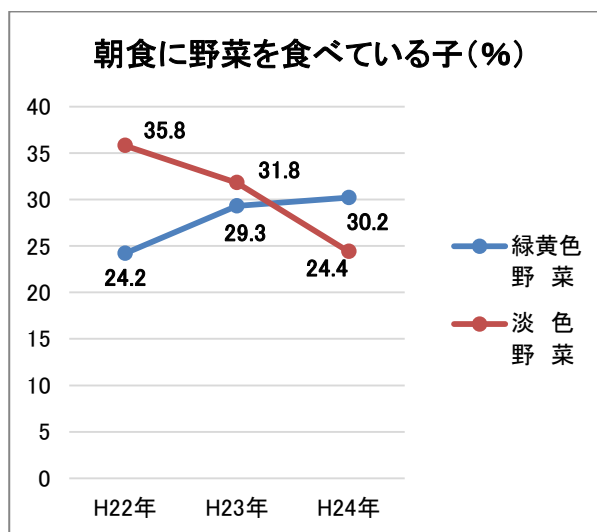
※ 根室市食育健康教育（保育所・幼稚園）アンケート
参考：H21 年国民健康・栄養調査 おやつを 3 回以上食べている子 19.5%



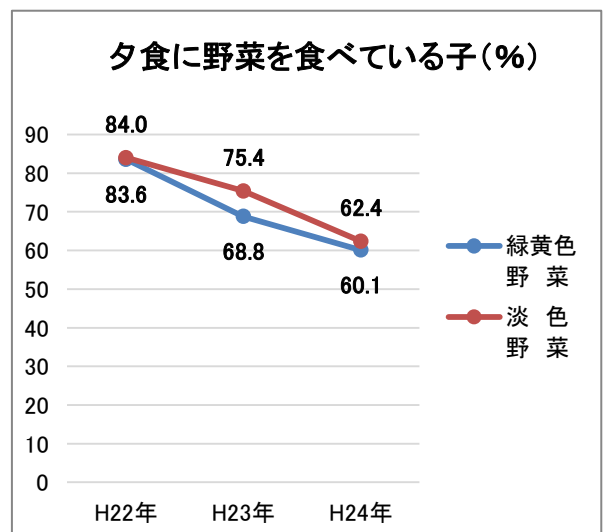
※ 根室市食育健康教育（保育所・幼稚園）アンケート



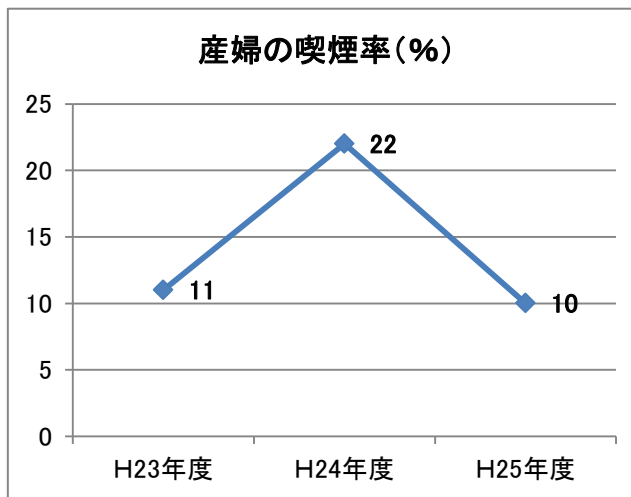
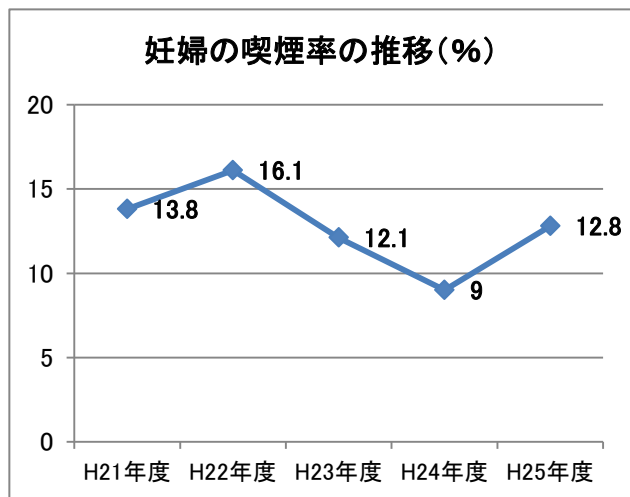
※ 根室市食育健康教育（保育所・幼稚園）アンケート



※ 根室市食育健康教育（保育所・幼稚園）アンケート



※ 根室市食育健康教育（保育所・幼稚園）アンケート



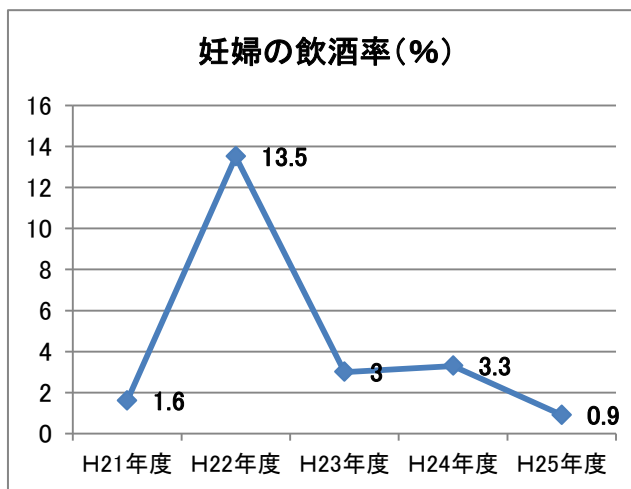
計資料（根室市 4 か月健診）

妊婦の喫煙率（全道・全国）%

	全 道	全 国
H 2 年度		5. 6
H12 年度		10
H22 年度	10. 1	5

※ 全国：乳幼児身体発育調査報告

※ 全道：北海道母子保健報告システム



※ 根室市保健課統計資料